

皆さん、こんばんは。本日、2016年の新規日本国費留学生を紹介するレセプションが開催できることを非常に嬉しく思います。

最初に、4人の新しい留学生の方に心よりお祝い申し上げます。日本での留学生活は、皆さんにとって素晴らしい体験になり、人生を豊かにしてくれるものと確信します。

次に、ABRAEX及び元留学生の皆様にお礼申し上げます。皆さんには、大使館が行う留学説明会や文化イベント、日本祭りへの協力、留学の経験を生かしてのセミナー等の実施で日本ブラジル間の関係強化に大きく貢献していただき、ありがとうございます。

現在、日本とブラジルの大学レベルの交流を支援する取組が主に4つあります。

一つは、今回の4名の留学生も対象となっている「日本の奨学金による留学制度」です。これにより毎年約60名のブラジル人学生が日本に留学しています。

二つ目は、「大学間の交流を支援する制度」です。昨年から、新たに日本の8大学（筑波大学、東京大学、東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学、上智大学、南山大学及び東京農業大学）及びブラジルの9大学（サンパウロ大学、リオ連邦大学、カンピーナス大学、パウリスタ総合大学、リオ州立大学、パラナ連邦大学、サンパウロカトリック大学、ブラジリア連邦大学、アマゾニア農業大学）を重点的に支援し、交換留学生の拡大、単位の相互認定、カリキュラムの共同開発などを促進していきます。

三つ目は、「日本留学フェアの開催」です。2012年から毎年日本の複数の大学が参加して行っていますが、今年は、3月11日にサンパウロ大学で、14日にブラジリア連邦大学で実施します。

四つ目は、「日本語学習への支援」です。ブラジルの「国境無き科学計画」とも連携しながら、日本への留学を一層促進するため、国際交流基金が、ブラジルの5大学（アマゾナス連邦大学、リオ連邦大学、ブラジリア連邦大学、パラナ連邦大学、リオグランデドスル連邦大学）で無料の日本語講座を開設するとともに、訪日研修も実施します。この日本語学習への支援をより確かなものとするために、現在、日本とブラジルの間で覚書の締結を検討しているところです。

これら4つの取組を通じて、できるだけ多くのブラジル人学生に日本へ留学していただければ幸いです。

また、今年はリオデジャネイロで、2020年には東京でオリンピック・パラリンピック大会が開催されます。このリオから東京へ大会が引き継がれる機会を捉え、ブラジルと日本のスポーツ交流や文化交流を飛躍的に高めていきたいと考えています。既に2月末に実施された東京マラソン大会にブラジル人ランナー5名が招待されるとともに、3月6日にリオデジャネイロのファベールにおいて、日伯の柔道連盟と協力して、畳や柔道着の寄贈を通じた青少年の育成を支援する予定です。さらに、同様の取組をブラジリア、サンパウロ、クリチバでも実施する予定です。

こういった事業に対する皆様の御支援も是非よろしくお願い致します。

最後に、ここにいらっしゃる皆さんの発展と健康をお祈りし、私の挨拶といたします。どうもありがとうございました。

(了)